-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、血液内科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使い下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名]　ポラツズマブ・ベドチン併用化学療法の適切な減量基準の探索

[研究対象者]

20021年1月～2025年12月までの間にびまん性大細胞型B細胞リンパ腫と診断され、血液内科でポラツズマブ・ベドチンを含む治療を受けられた方

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：血液腫瘍の診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、併存疾患名、骨髄検査、画像情報（CT、PET-CT、MRI）、リンパ腫の病期分類・予後分類・腫瘍マーカー、リンパ腫治療中の合併症、リンパ腫の治療経過、血液検査結果、輸血回数、感染合併症の治療経過

[利用の目的]　（遺伝子解析研究： 無 ）

びまん性大細胞型B細胞リンパ腫に対し年齢や合併症がある場合に、化学療法の適切な減量基準について探索することを目的としています。

[研究実施期間]　倫理審査委員会承認後より2030年12月末日までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学　理事長　清水　治

研究責任者：東京女子医科大学　血液内科　教授　瀬尾幸子

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学　血液内科　篠原明仁

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9 時～16 時）